

夢が花咲き 泉のわく

進んで考える子・共に助け合う子・元気でたくましい子



第 19 号
2023. 3. 8
文責：校長（門田）

たくさんの やさしさの花が 咲きました



前回の校報でもお知らせしましたが、児童会では、「身近なだれか、そして顔を知らないだれか」に温かい心を寄せる取組を進めています。

その1「友達に温かい言葉をかけられる花泉小児童になろう。」では、多目的ホール前の廊下に貼られた模造紙に「温かい言葉」の花がいっぱいになってきました。取組は3月11日までです。

その2「能登半島地震の募金をしよう。」では、42,968円の募金が集まりました。保護者の皆様のご協力にも感謝いたします。集まった募金は、2月26日に児童会執行部から一関市共同募金委員会へと手渡されました。

その3「書き損じはがきを集めよう。」でも、たくさんのはがきが集まり、福祉団体におくられました。

6年生に たくさんの『ありがとう』

2月29日には「6年生を送る会」が行われました。



アーチをくぐって入場

会場となった体育館は、1・2年生が作ってくれた飾り、3年生からの招待状、4年生が作った横断幕で飾り付けられました。そして、4年生が準備してくれたアーチをくぐって6年生が入場しました。



1年生からエール「アゲアゲ、ホイホイ。」

各学年からの出し物の中では、「休み時間に遊んでもらってうれしかったこと。」「トイレをきれいに掃除して

くれたり、いっしょに教室を掃除してくれたこと。」この1年間の6年生への感謝の言葉や、運動会での応援や陸上記録会での大活躍など下級生たちの目標となった姿へのあこがれの言葉、「今度は自分たちが」という決意の言葉が伝えられました。

開校初年度の6年生。リーダーとして活動することが求められ「計画して動き出しては見たものの、思うようには進まない。」手本にするものが無い難しさを感じながらの1年だったと思います。

でも、そんな試行錯誤があったから後輩たちは、よりよい花泉小学校をイメージして児童会活動・委員会活動を進めることができます。



会の中で下級生を見守る6年生の笑顔が印象的な6年生を送る会でした。

『キツネとツル』につづきがあれば

3月8日の全校朝会では、こんな話をしました。

みなさんは『キツネとツル』というお話を知っていますか？

ある寒い日にキツネがツルを食事にさそいました。「ツルさんどうぞ遠慮なくスープを召し上がってください」キツネは、スープをお皿に入れて出しました。ところが、長くちばしのツルはお皿に盛られたスープを上手に食べることができませんでした。

次の日、今度はツルがキツネを食事にさそいました。「キツネさんどうぞ遠慮なく召し上がってください」ツルは、細長いツボにスープを入れて出しました。ところが、細長いツボに入っているスープはキツネの舌では食べられません。ツルはおいしそうにスープを食べました。

これは、イソップ童話にあるお話で、人に意地悪をすると同じように自分も意地悪をされるというお話です。しかし、このお話に次のような続きを考えた人がいます。

スープの入ったツボを見ているキツネに、ツルが言いました。「どうしましたキツネさん。スープはお口にありませんか」とキツネは、ふところからストローを出して、おいしそうにスープを飲みました。そして驚いているツルに言いました。「ツルさん、これはこの間のしかえしですか？ツルさんは、私が意地悪をしたと思っているのでしょうか。実は、私はちゃんとつぼも用意していたのですよ。でも、あなたは『お皿では食べられないからつぼに入れてください』とは一言も言いませんでしたよね。私たちキツネの家ではスープはお皿に盛って食べるのが当たり前ですし、ツルさんの家ではつぼに入れて食べるのが当たり前でしょう。だから、今日はストローを持ってきました。あなたは、いつも、人が自分のことを考えてくれることを当たり前だと思っているのではないですか。困ったことがあれば、口できちんと言えたいのです。それをしないで、意地悪をされたと思うのは間違っています。」ツルはだまってしまいました。

キツネに意地悪をされたと思い、しかえしをしたツル。ツルが困ることが分かっている、自分からはつぼを出してあげなかったキツネ。みなさんは、キツネとツルをどう思いましたか？また、この2匹はどうしたら初めから仲良くすることができたのでしょうか？

キツネとツルに足りなかったのは、お互いを思いやる気持ちです。キツネにとっては当たり前のことで

も、「ツルさんはきっと困るだろう」と考えて、初めからツボにスープを入れてあげれば、気持ちよく食事ができたでしょう。ツルも、キツネに意地悪をされたらと決め付けずに、困っていることを言葉でうまく伝えることができれば、気持ちが通じたと思います。

自分に気持ちがあるように、まわりの人にも気持ちがあります。それを上手に伝え合って私たちは生活しています。伝える方法は言葉です。同じことを言っても言い方が悪いとうまく伝わりません。相手に気持ちよく伝わるように丁寧な言葉で話すことが大切です。そして、人に何か頼みたい時には「お願いします」、何かしてもらった時には「ありがとう」と言うことが大切です。簡単な言葉ですが、とても大切な言葉です。

このお話に、もっと続きを書くなら、最後に、たぶんキツネはこう言ったと思います。

だまってしまったツルにキツネが言いました。「ツルさん、またうちに来ませんか。今度はちゃんとスープをつぼに入れてお出ししますから。」そして、ツルはこう答えるでしょう。「ありがとう、キツネさん。これからも仲良くしましょう。」 おしまい。

多目的ホールの前にできた「やさしい言葉で満開の木」、6年生を送る会で体育館に響いた「ありがとう。がんばってね。」の言葉。

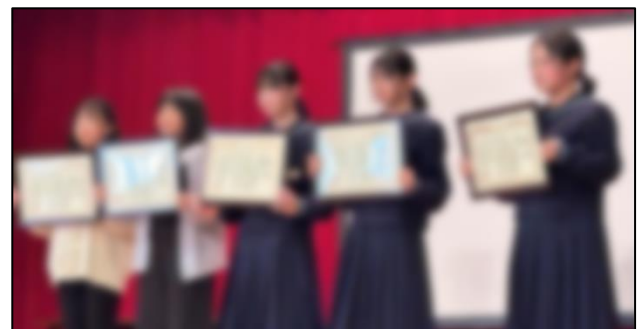
ますます、温かい言葉がいっぱい飛び交う花泉小学校になればよいと思います。

紹介します

花泉地域社会福祉協議会の主催する「福祉作文コンクール」に4年生が取り組みました。

出品作の中から、最優秀賞に〇〇〇〇さんの「認知症サポーター養成講座を受けて」、優秀賞に〇〇〇〇さんの「しょうがい者はがんばって生きている」が選ばれました。

2月29日に福祉センターで開催された「花泉地域保健福祉まつり」の中で表彰式が行われました。



授賞式で、入賞した中学生と。